水上村立岩野小学校　学校便り　No. ３－(2)　文責：椎 由紀子

岩野っ子通信

『命』を大切にする心の育成

命に関わる重大事案の低年齢化が問題になっています。その背景の一つに、コミュニケーション力の低下、自尊感情の低下があると考えられます。伝えたいことがうまく伝えられない、受け止める心の余裕がない、わかり合えない、自信がもてない、被害者意識に陥る、自暴自棄になる、という悪循環。

そのような状況にならないために、「豊かな感性」や「自尊感情」を高める教育が必要であり、その中で、自分を見つめ直したり、人との関わり方を学んだり、互いに思いを伝え合ったりしながら、「自分で考え、判断し、責任のある行動がとれる人間」「人と関わることを楽しみながら、希望や勇気、思いやりの心をもち、社会に役立つ生き方ができる人間」へと成長させていくことが大切だと考えます。

・・・ということで、本校では、「特別の教科　道徳」を中心に、次のような「命」に係る取組を行っています。ほんの一部ですがご紹介します。

ツマグロヒョウモンのサナギは、金色の模様が特徴で、とてもきれいです。

『命』に係る具体的な取組

１　全学級　道徳の授業公開

１学期のＰＴＡ授業参観・懇談会の折に、全学級において道徳の授業を公開しています。「命」や「思いやり」に関する学習を深め、おうちの方にも考えていただいています。

２　花壇コンクール

生き物委員会の子どもたちが種から苗を育て、それを全学年の子どもたちが各学年の花壇に植えました。今年度は「花壇コンクール」を実施し、花の美しさだけでなく、水やりや草取りなど日頃のお世話も頑張ることにしています。育てることを通して、思いやりの心が育ちますように。

３　ひとつぶの種から

１年生がアサガオを育てています。１粒の種（命）からどれだけたくさんの種（次の命）ができるか、命のつながりを通して、命の尊さに気づいてほしいと思います。

５月24日撮影

６月６日撮影

４　幼虫からチョウへ

ツマグロヒョウモンの幼虫を子どもたちと一緒に育てました。毎朝、毎夕、子どもたちは飼育箱を楽しみにのぞき込んでいました。チョウの誕生に大感動の子どもたち。みんなで７匹のチョウを大空に飛び立たせました。卵を産みに帰ってきてね。